



## 第4次 うるま市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

～令和6年度 実績報告書～



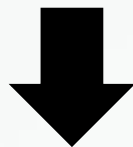
地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)の第21条1項で策定が義務づけられています

## キーメッセージ

- ▶本市公共施設の温室効果ガス排出量を**33%削減**
- ▶職員一人ひとりが地球温暖化問題に関する認識を深める
- ▶先進的に脱炭素化に取り組むことで、**地域の温室効果ガス排出量削減の模範**となる

## 目標

平成28年度(2016)を基準に令和12年度(2030)までに温室効果ガス排出量を**33%削減**する



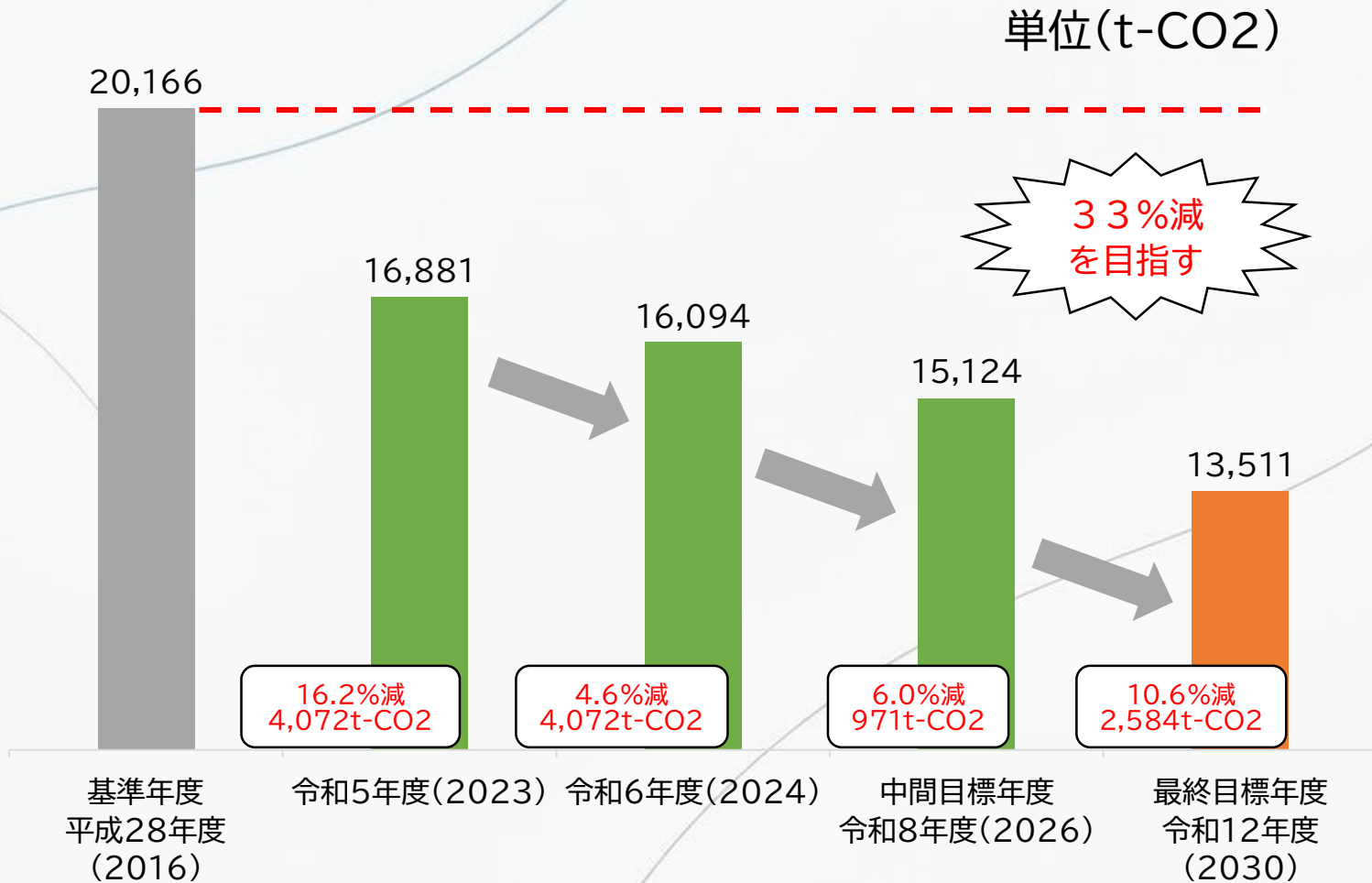
温室効果ガスとは・・・

# 温室効果ガスの種類

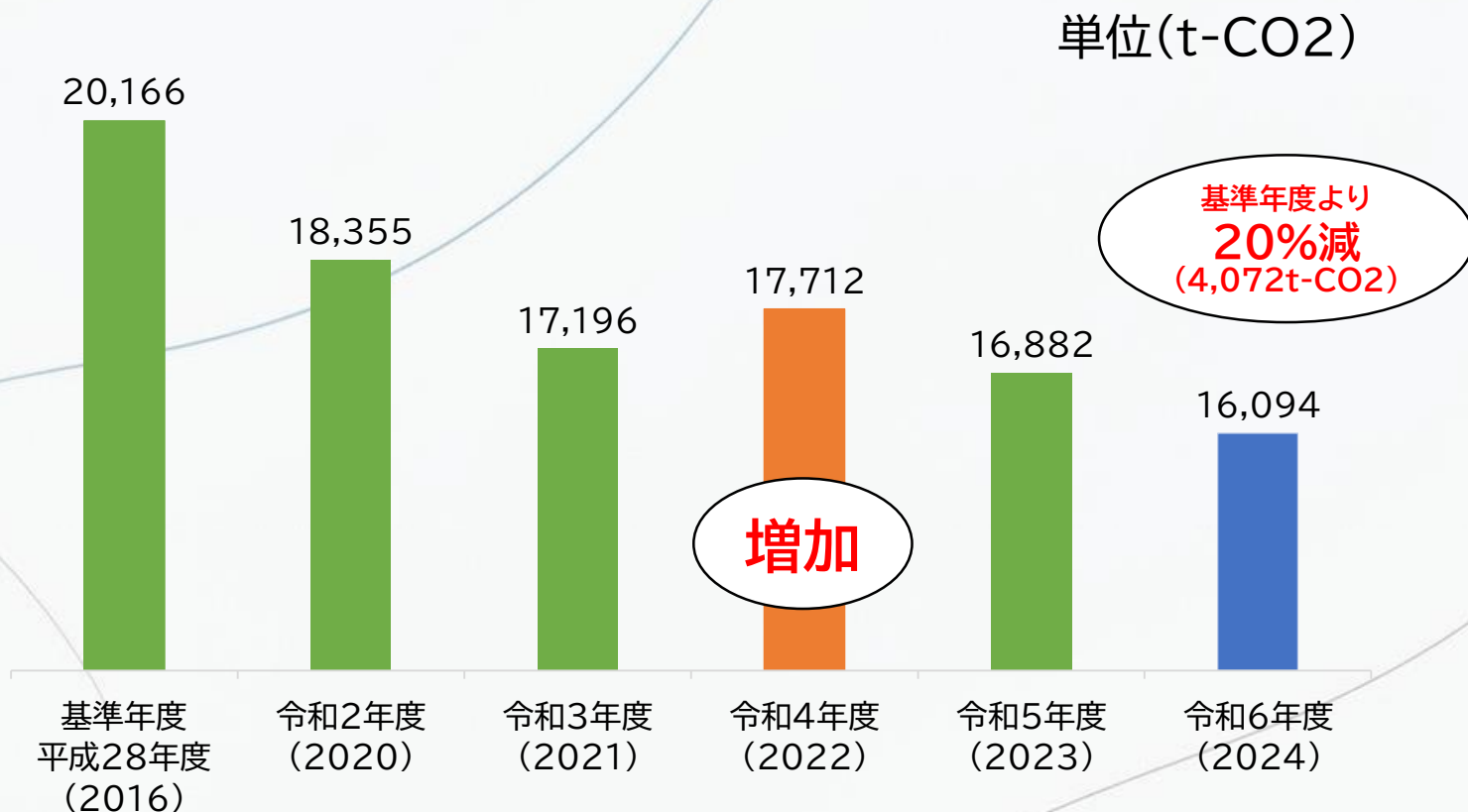
温対法第2条3項に規定されている7種類の温室効果ガス

温室効果ガスの種類	主な発生源	地球温暖化係数(GWP)	日本の排出量割合(%)	本計画の対象物質
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	電気の使用、ガソリン・灯油等化石燃料の燃焼等	1	91.4	○
メタン(CH <sub>4</sub> )	ボイラー等燃料の燃焼、自動車の走行、稲作、家畜腸内発酵等	25	2.3	○
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	ボイラー等燃料の燃焼、自動車の走行、病院での笑気ガス使用等	298	1.6	○
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	カーエアコンや冷蔵庫などの冷媒用に使用、廃棄時等	1,430	4.1	—
パーフルオロカーボン(PFC)	PFCが冷媒に封入されている製品の使用、廃棄時等	7,390	0.3	—
六ふっ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	絶縁ガスとして封入された電気機器類の使用、廃棄時等	22,800	0.2	—
三ふっ化硫黄(NF <sub>3</sub> )	半導体製造でエッチング液として使用	17,200	0.02	—

# 温室効果ガス排出量の削減目標

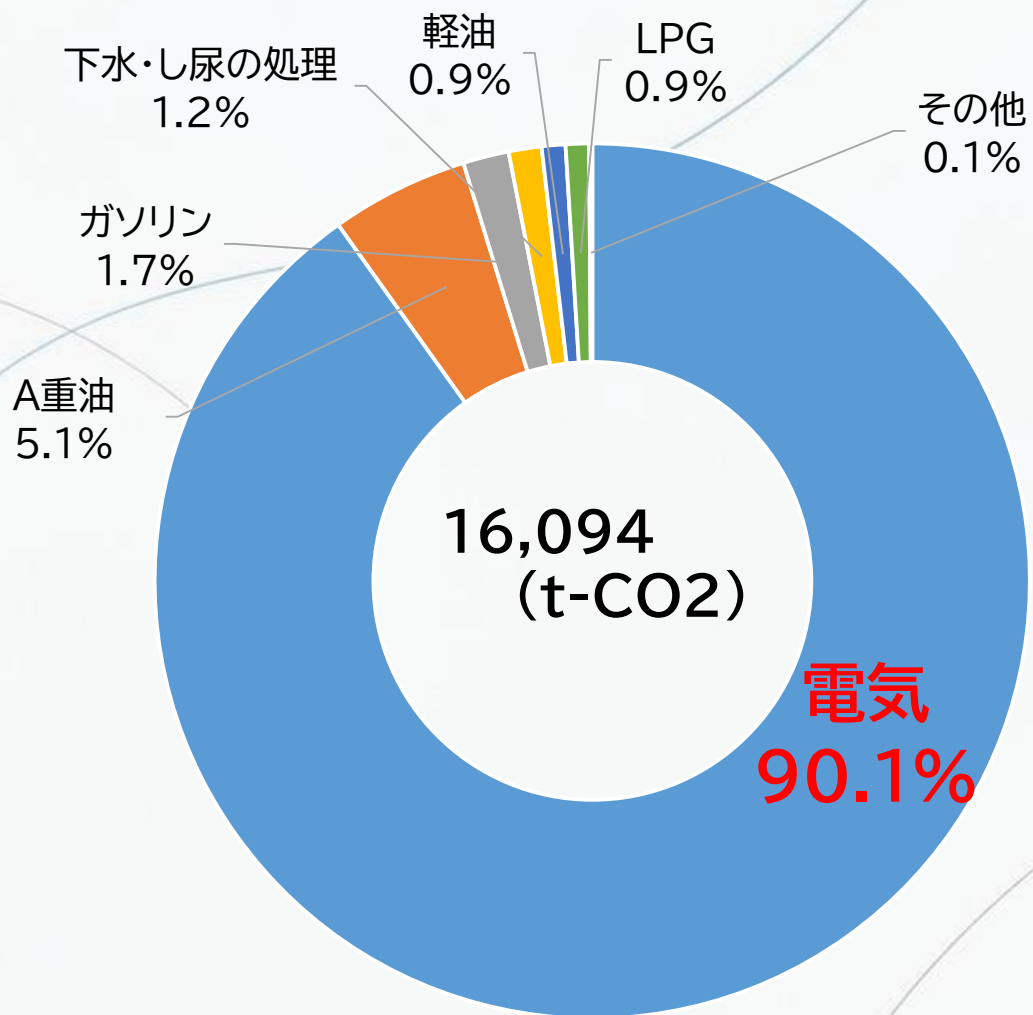


# 令和2年度～令和6年度 本市公共施設全体の温室効果ガス排出量



令和4年度に温室効果ガス排出量が増加したが、令和5年度以降に再び減少し、基準年度からおよそ**20%削減に成功**  
令和12年度までに**残り13%の削減**を目指す

# 令和6年度 温室効果ガス排出 カテゴリ別内訳



電気	・14,508t-CO2
A重油	・819.2t-CO2
ガソリン	・274.2t-CO2
下水・し尿の処理	・194.3t-CO2
軽油	・140.7t-CO2
LPG	・138.7t-CO2
その他	・19.3t-CO2

## 電気の使用量削減を中心とした省エネの取り組み

- ▶身近な地球温暖化対策
- ▶CO2の排出割合は9割
- ▶光熱費削減も兼ねた取り組み

## 本市公共施設全体の電気使用状況は増加傾向にある

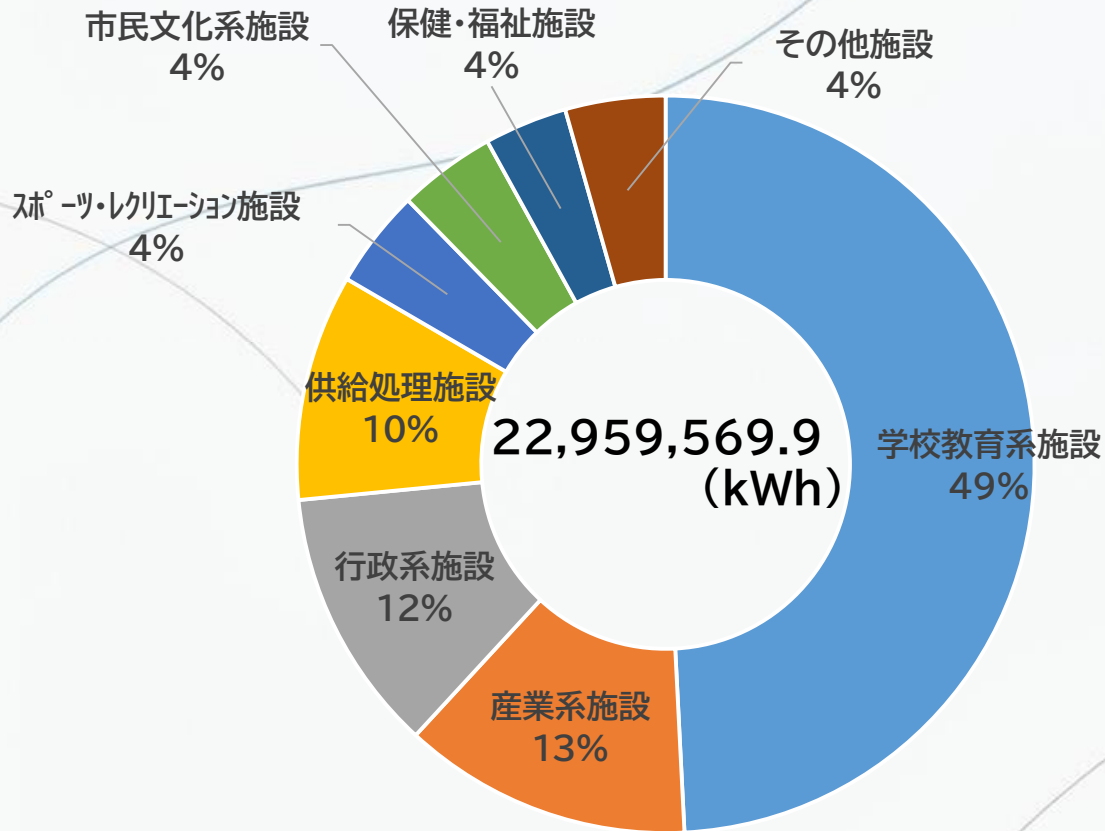
- ▶令和6年度の総電気使用量は22.9M(kWh)。前年比で+3.8%
- ▶削減目標達成に向け、各施設における省エネ取り組みの強化が必要

# 令和2年度～令和6年度 本市公共施設全体の電気使用量



年度	実績値	
	電気使用量(kWh)	前年度比率(%)
令和2年度	21,498,481.1	—
令和3年度	21,622,399.3	+0.5%
令和4年度	23,302,585.6	+7.7%
令和5年度	22,117,311.9	-5.0%
令和6年度	22,959,569.9	+3.8%

# 令和6年度 本市公共施設全体の電気使用状況



学校教育系施設	・小学校 ・中学校
産業系施設	・産業施設 ・農業施設
行政系施設	・庁舎 ・消防施設
供給処理施設	・下水道施設 ・水道施設 ・廃棄物処理施設
スポーツ・レクリエーション施設	・スポーツ施設 ・観光・レクリエーション施設
市民文化系施設	・文化施設 ・集会施設
保健・福祉施設	・保健施設 ・福祉施設